

公立病院としての役割や機能と今後の課題について

1. 公立病院としての役割や求められる機能

- ① 犀川以南の南部地域の拠点病院として、一般急性期の医療や救急医療に対応
- ② DMAT チームを配備するなど、災害医療における災害拠点病院としての役割
- ③ 結核医療・感染症医療など、民間病院では対応できない政策医療を実施
- ④ 「地域連携室」の機能を強化し、「一般急性期から在宅復帰支援まで」に対応した「地域完結型病院」としての役割
 - ・ 介護施設等との連携を進め、在宅医療の支援を強化（地域共通カルテや遠隔モニタリングの導入）
 - ・ 入退院支援センターを設置するなど、かかりつけ医と訪問看護ステーションとの連携を強化
- ⑤ 先進医療・高度医療部門に医療資源を投資し、特長ある診療部門を強化
- ⑥ 金沢市の保健局・福祉局・保健所など行政部門との連携強化による、予防・医療・介護分野等における市民サービス向上への取り組み
- ⑦ 院内に専任の医師や助産師を配置した「(仮) 母子支援センター」を設置し、保健所や保健部局と連携した子育て支援策を実施
- ⑧ 教育・研究システムの充実
 - ・ 研修医の指導・育成など、医療職の教育研修体制の構築、認定看護師や認定薬剤師などの上級資格取得の支援を強化
- ⑨ 健康増進講座の開催など、各種保健事業の展開により地域貢献を果たす
 - ・ 「ホスピタリティ・アート」の推進、「健康寿命延伸」講座の実践など「まちなかサロン」を充実

2. 再整備に向けての今後の検討課題

- ① 市民のための病院として、今後の目指すべき方向性やコンセプトを確立
- ② 病院経営と診療機能の強化を図るため、「病院事業管理者」と「病院長」の機能を分離するなど、管理運営体制の見直しを検討
- ③ 今後の急激な医療環境に迅速かつ柔軟に対応するため、「独立行政法人化」への移行など、病院経営形態の見直しを検討
- ④ 入院患者の減少や医療ニーズの変化に応じた病棟管理体制の見直し、病棟運営の効率化などによる経営改善の推進
- ⑤ 病院スタッフの「働き方改革」を推進し、効率化・生産性の向上を追求

(参考) 金沢市立病院の財政状況

〔貸借対照表〕

(単位: 千円)

科 目	2 9 年度	2 8 年度	増 減	
			金 額	比率(%)
資 产	9, 353, 954	9, 260, 954	93, 000	1. 0
固定 资 产	5, 247, 241	5, 198, 155	49, 086	0. 9
流 動 资 产	4, 106, 713	4, 062, 799	43, 914	1. 1
現金・預金	3, 368, 428	3, 289, 475	78, 953	2. 4
資 产 合 计	9, 353, 954	9, 260, 954	93, 000	1. 0
負 債	4, 742, 929	4, 609, 141	133, 788	2. 9
固定 负 債	3, 076, 279	3, 062, 452	13, 827	0. 5
企 業 債	1, 489, 132	1, 534, 241	△ 45, 109	△ 2. 9
退職給付引当金	1, 587, 147	1, 528, 211	58, 936	3. 9
流 動 负 債	1, 130, 427	993, 751	136, 676	13. 8
企 業 債	440, 409	435, 916	4, 493	1. 0
繰 延 资 产	536, 223	552, 938	△ 16, 715	△ 3. 0
資 本	4, 611, 025	4, 651, 813	△ 40, 788	△ 0. 9
負債資本合計	9, 353, 954	9, 260, 954	93, 000	1. 0

〔主な経営指標〕

- ・ **現金預金対借入金比率(%)** : 29 年度 : 174. 6 28 年度 : 167. 0

現金預金と借入金のバランスを判断する。企業債に対する支払能力を表す。
- ・ **流动比率(%)** : 29 年度 : 363. 3 28 年度 : 408. 8

流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表す。比率が 100% 以上であることが必要である。
- ・ **現金預金比率(%)** : 29 年度 : 298. 0 28 年度 : 331. 0

流動負債に対する現金預金の割合を示す。すぐに支払いが可能な現金・預金のみでの支払い能力を表す。